

## 雪嶺会：平成 26 年度学生活動助成に係る活動結果報告書

雪嶺会（北海道科学大学同窓会）の学生活動助成を受けた活動実績を本シートで報告します。  
提出者＞

団体名称/代表	北海道遺産応援隊 / 人間社会学科 4 年 工藤俊貴 （5 名）
---------	----------------------------------

### ◆ 江差町姥神大神宮渡御祭：山車町内巡行・運営支援活動

【期間：H26 年 8 月 10 日～12 日】

#### 1) 支援した山車「蛭子山」の下町巡行スタート前



#### 2) 1 日目：山車下町巡行の支援活動状況



#### 3) 2 日目：各家々へご祝儀貰いに向かう本グループメンバー他



・8 月 10 日（1 日目）は 12 時過ぎごろ江差町に到着し、すぐに旅館にチェックインし、地元の方（蛭子山保存会）が準備してくれていた半纏を着て、山車 13 台が並ぶ集合場所に出向いた。

・役員の方から下町巡行ルートや本日の作業についてレクチャー受けて本番（スタート）を待った。

・13 時より 1 台 1 台順番に集合場所から下町地区にゆっくりと繰り出していった。

・私たちは 1 日目主に引手という役割で地元の子供達や若者と一緒に大変な重量がある山車「蛭子山」を引いて歩いた。

・夜になると地元も親方（巡行責任者）の家にお邪魔し、北海道遺産に認定された経緯や 370 年もどうやって継続してきたのか、夕飯をごちそうになりながらお話を聞くことができた。

・やはり少子高齢化が江差町にも大きな影を落としているようであり、今後の継続が危ぶまれるとのことでした。

・8 月 11 日（2 日目）は、朝 9 時半に集合場所に向かい、ご祝儀貰い（お祭り協賛金の集金）についてのやり方を指導受け、地元の会計担当役員さんとペアを組んで上町の住戸やお店、会社などを手分けして訪問した。

・北海道工業大学時代の 9 年前から濱谷ゼミや旅行研究同好会などの学生も継続して手伝いに来ているせいか、私たちチームも地元は暖かく迎えてくれて、かつ感謝された。